



「復興とは何を“戻し”、何を“変える”のか —— 能登半島地震からの創造的復興」

令和8年3月

石川県、能登官民連携復興センター

自己紹介

杉本 拓哉（すぎもと たくや） ※能登では「スギタク」と呼ばれています。

一般社団法人 能登官民連携復興センター 広域連携マネージャー
（本務：石川県 能登半島地震復旧復興推進部 創造的復興推進課 課長補佐）

<現在の役割>

- 能登半島地震からの復興において、企業・経済界・全国の支援を能登の現場で復興に取り組む自治体・団体・事業者につなぐ調整役
- 構想・想いを「実装できる形」に落とし込むことを主な役割とする

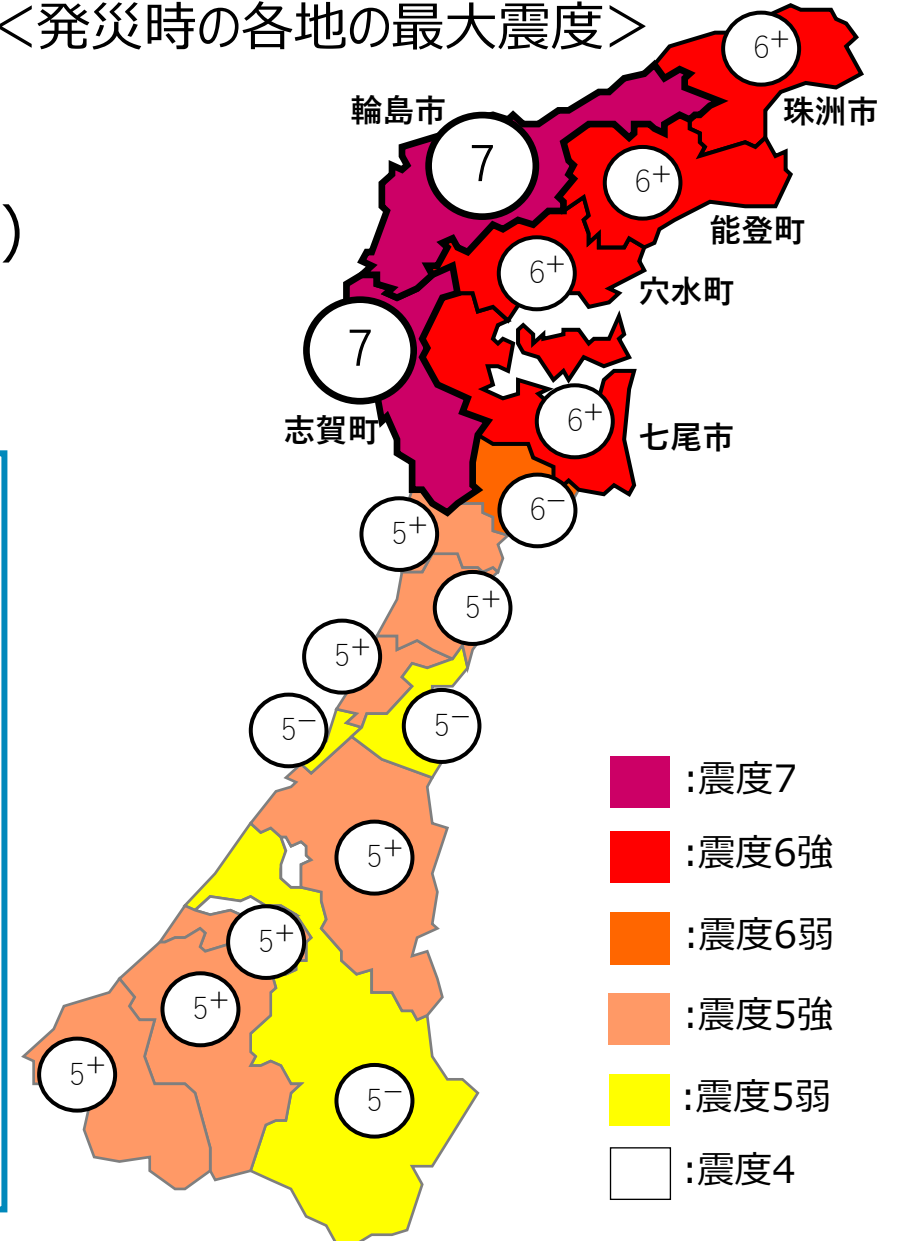
<能登半島地震からの復興に関する主な経歴・取り組み>

- 石川県が策定した能登半島地震からの復興プラン「創造的復興プラン」の策定を担当
- 復興に必要な中間支援組織として、2024年10月設立の「一般社団法人 能登官民連携復興センター」の立ち上げを構想段階から担当
- 官民・企業・NPO・地域団体の間に入り、連携設計・役割整理・実行支援を行う

令和6年能登半島地震の概要

- **発生時刻** 令和6年1月1日(月) 16時10分頃
- **震源地** 石川県能登地方 (震源の深さ 約16 km)
- **地震の規模** マグニチュード7.6

＜発災時の各地の最大震度＞



＜人的・住家被害の状況＞ R8.1.30時点

死者 697人

直接死 228人

→ 圧死(約4割)、窒息・呼吸不全(約2割)、
低体温症・凍死(約1割)など

災害関連死 469人

→ 環境変化による肉体的・精神的負担、既往症の悪化など

行方不明者 2人

負傷者 1,277人 (うち重傷 401人)

住家被害 116,556棟 (うち全壊 6,167棟)

令和6年奥能登豪雨の概要

<9月21日の各地の警報・注意報>

■発生日

令和6年9月20日(金)から23日(月)

■大雨特別警報

※県内で初の発表

輪島市、珠洲市、能登町

➤ 発表 21日 10時50分

➤ 解除 22日 10時10分

■9月21日の降水量 (アメダスデータ) ※能登町は観測地点なし

輪島市 合計 362mm、最大 121mm/h

珠洲市 合計 272mm、最大 85mm/h

金沢市 合計 22mm、最大 18mm/h

<人的・住家被害の状況> R8.1.30時点

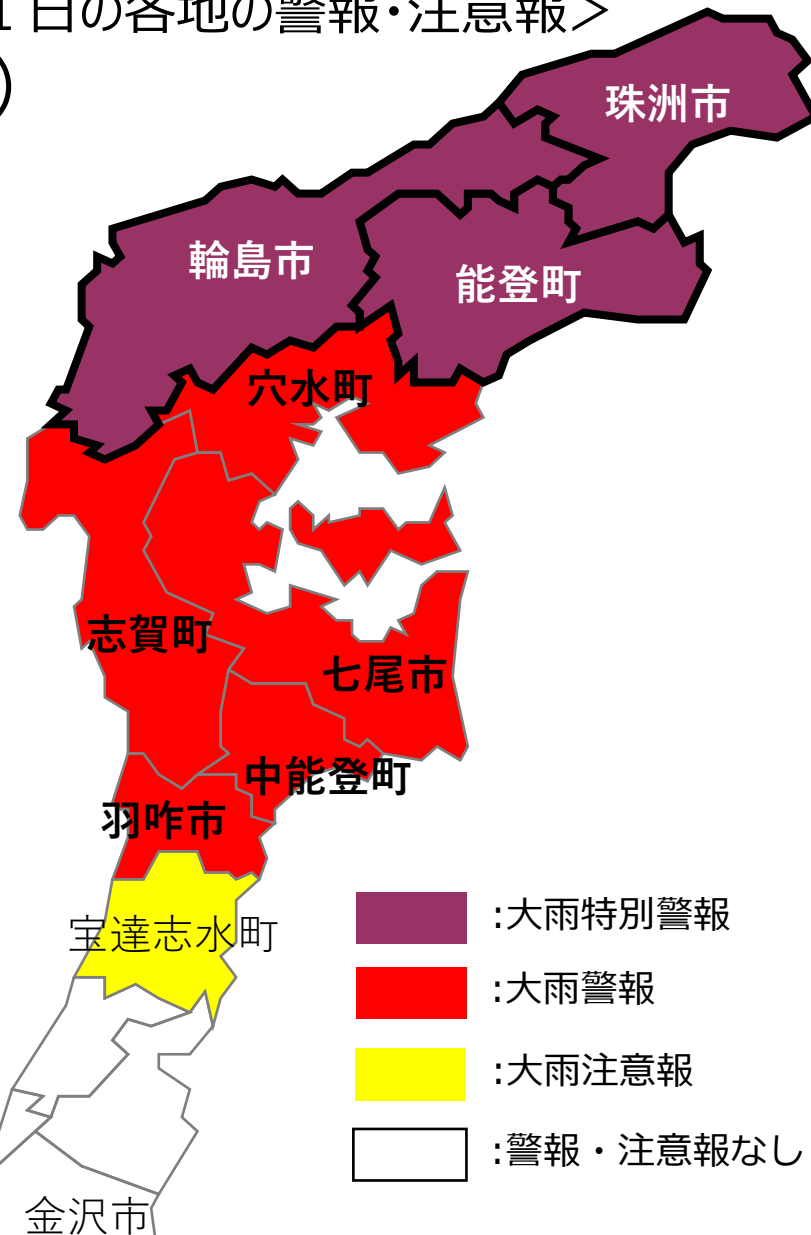
死者 21人 (うち直接死※ 16人、災害関連死 5人)

行方不明者 0人

負傷者 47人 (うち重傷 2人)

住家被害 1,902棟 (うち全壊 82棟、床上浸水 74棟)

※水害による溺死、土砂災害による圧死など



石川県創造的復興プランの策定（令和6年6月）



<プランの位置づけ>

創造的復興の実現に向けた羅針盤

<対象期間>

県成長戦略と合わせ、**令和14年度末までの9年間**

「短期」(2年後の令和7年度末)

「中期」(5年後の令和10年度末)

「長期」(9年後の令和14年度末)

大施策 1 公共土木施設などの復旧促進

中施策 1 国や市町、事業者と連携した各種インフラ・施設の復旧促進

小施策 1 社会インフラや医療・福祉施設、学校、交通安全施設等の早期復旧

【取組】公共土木施設等の早期復旧

国の権限代行の活用や市町との連携により、地震で被災を受けた道路、上下水道、河川、港湾、公園等の復旧工事を行い、社会インフラの早期の機能回復を図ります。(土木部)

取組	短期 (~R7末)		中期 (~R10末)			長期 (~R14末)			
	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14
公共土木施設等の 早期復旧	応急復旧								
	本復旧					復旧に合わせて 施設の強靱化			

元に戻すだけの復興では解決にならない

◇もともと能登では、細長い半島の過疎地で高齢化等がいち早く進み、様々な課題が山積

- 学校の閉校、公共交通の減少、祭りの断絶、高齢者同士での支え合い、老朽インフラや空き家・・・



**もともと能登は、持続可能な状態ではなかった。
そして、震災により、その時計が10年以上も早まってしまった。**

◇元に戻すだけの復興では、課題が山積み状態に戻ってしまうだけ

- 課題を増やすことも。東北の事例では、災害公営住宅の空き家が増え、水道維持費が自治体会計を圧迫。



**復興に向けたインフラや社会機能の一斉投資をどのように行うか
(=これから能登がどう変わるか) が重要。**

創造的復興リーディングプロジェクト 13の取組

- 取組 1 復興プロセスを活かした関係人口の拡大
- 取組 2 能登サテライトキャンパス構想の推進
- 取組 3 能登に誇りと愛着が持てるような「学び」の場づくり
- 取組 4 新たな視点に立ったインフラの強靱化
- 取組 5 自立・分散型エネルギーの活用など
グリーンイノベーションの推進
- 取組 6 のと里山空港の拠点機能の強化
- 取組 7 利用者目線に立った持続可能な地域公共交通
- 取組 8 奥能登版デジタルライフラインの構築
- 取組 9 能登の「祭り」の再興
- 取組10 震災遺構の地域資源化に向けた取り組み
- 取組11 能登半島国定公園のリ・デザイン
- 取組12 トキが舞う能登の実現
- 取組13 産学官が連携した復興に向けた取り組みの推進

【関係人口の拡大】



(写真) 石川県観光連盟



(写真) 能登高校提供



(写真) 石川県観光連盟
あばれ祭り(能登町)



隆起した漁港・海岸黒島漁港 (輪島市)



「能登復興支援事業」による地域団体の活動支援

- ロックユニット「COMPLEX」などから頂いた寄附金を活用した「能登復興支援事業」の助成先を決定
 - ①アーバンスポーツを中心とした子どもたちの居場所づくり【輪島市】
 - ②「宝立七夕キリコ祭り」復興プロジェクト【珠洲市】
 - ③「七尾牡蠣」の養殖事業の拡大とブランド化【七尾市】 など



アーバンスポーツ施設
「NOTO COMPLEX PLAYGROUND」



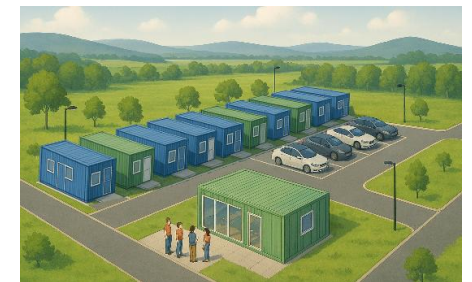
いしかわのWa!
QRコード

関係人口の見える化に向けた仕組みづくり

- 地域と関係人口をつなぐポータルサイト「いしかわのWa!」の運用をR7年11月から開始し、地域住民との交流プログラム造成支援や首都圏等での情報発信等を実施

「能登起業チャレンジ応援プロジェクト」の創設

- コンテナハウス型の長期滞在施設を整備(R8年4月から運用開始)するとともに、**起業支援の専門人材を配置**するなど、生活基盤の確保と起業支援を組み合わせて実施



コンテナハウス (イメージ)

- 県内外の学生やゼミ等が地域との協働・交流を通じて課題解決等に取り組み、関係人口の創出・拡大を図る
- 被災地の復興状況を踏まえつつ、大学や参加学生、地域の声も聞きながら、それぞれの取り組みを着実に推進

R7
年度

- 地域課題研究ゼミナール支援事業
 - 県内高等教育機関の専門性と学生の若い力を地域課題の解決および活性化に結びつける取組を実施
- 「能登・祭りの環」支援事業
 - 学生が奥能登の祭りの担ぎ手として参加し、復興を後押し
- サテライトキャンパス推進事業
 - 県全域で県内外の大学ゼミ等による単位認定も見据えたフィールドワークを実施
 - 能登の復興に寄与する形での学生ボランティアと地域住民等との交流を促進



学生と地域との勉強会



復旧作業のお手伝い

➡ 今年度は、700名の受入目標に対し、**78大学等から約810名が参加**（11月末時点）

- 「**創造的復興**」をテーマとした探究活動を全ての県立高校で実施し、能登の復興を自らが担う人材を育成

復興探求コーディネーターの配置

- 奥能登5校に民間のノウハウを有する**復興探求コーディネーター**を配置(2名)
- 定期的に巡回し、**奥能登5校での探究ネットワーク**を形成



奥能登5校での探究ネットワーク

能登でのフィールドワークを通じた防災教育

- 奥能登以外の全日制県立高校で、**震災遺構の見学や専門家・語り部から話を聞く**などして、防災・減災について学習
- 9月末までに**21校の約1100人が参加**



バス内での地質学講義

「祭りお助け隊」の派遣

- 能登に暮らす人々の絆である**祭りの再開を支援し、地域コミュニティを再建するため**、祭り用具の修繕・新調や資機材借上などの**経費(最大150万円)を助成**
- 一方で、「再開したいが、担い手が確保できず断念した」との声もあったことから、今年度は、キリコの担ぎ手や祭りの運営を補助するボランティア**「祭りお助け隊」を新たに派遣**
- R6年は「あばれ祭」や「石崎奉燈祭」など、能登全体の4分の1の祭りが開催。**R7年はR6年の1.8倍、能登全体の約5割にあたる119件の祭りが開催**



※活動に当たっての**保険は県負担**

震災遺構の地域資源化

○令和6年能登半島地震の被害や教訓など、**後世に伝えるべき歴史的・文化的価値を有する遺構を地域資源として保全・活用**



海底が隆起した黒島漁港



黒島漁港（上空）
出典：国土地理院HP

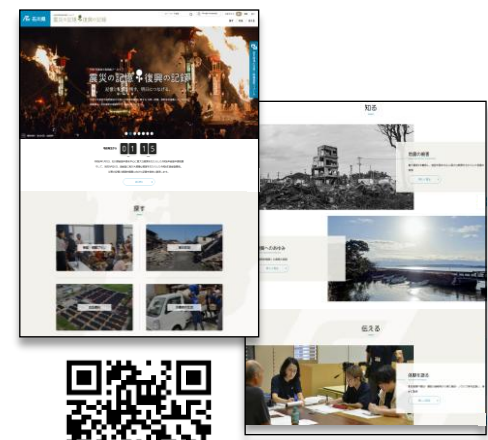
●震災遺構等の**地域資源の調査**や**関係者との認識共有のための勉強会**開催(R7)

風化防止に向けた情報発信

- 地震・豪雨の**被害状況**や**復旧・復興の過程**で得た**教訓・知見**等が記された資料を、広く収集し、**「令和6年能登半島地震アーカイブ」**として公開
- 能登で生きる人々に焦点を当てた動画や、**復興応援特設サイトを公開**

- 写真・映像などの資料は県民等からも広く収集
- 風化防止を図るとともに、**防災・減災対策や防災教育、防災観光等に活用**

令和6年能登半島地震アーカイブ
震災の記憶 復興の記録
<https://noto-archive.pref.ishikawa.lg.jp>



復興応援特設サイト



動画「能登の祭り」編

取組12 トキが舞う能登の実現 トキ放鳥に向けた取り組みの推進

国が令和8年6月頃を目処に能登地域におけるトキ放鳥を決定
羽咋市南潟地区(邑知潟周辺)での放鳥を決定(令和7年7月)

能登復興のシンボルとなるトキ放鳥に向けて万全を期す

能登地域でのトキ放鳥に向けた準備

放鳥で使用するケージ設置に向けた検討など

トキ定着に向けた体制づくり

トキのモニタリング体制の検討・構築、トキ観察マナーの普及啓発など

放鳥を見据えた気運醸成の加速化

放鳥決定を記念したイベントなど

トキ放鳥を契機とした地域活性化

ロゴマーク・キャラクター、PR動画制作、米のブランド化に向けた検討など



放鳥ケージ



モニタリング



シンボルマーク



キャラクター

能登駅伝の復活

- スポーツの力で前に進もうとする能登の人々の背中を押すような、**全国から人が集うスポーツイベントを開催し、能登の創造的復興を目指す**
- 「能登駅伝」(S43年～52年に開催)の復活に向け、基本計画案の策定に着手
- 陸上競技関係者や関係市町が**現地視察等を実施**(9/2,3)



輪島塗「漆芸の聖地プロジェクト」

- 基本構想策定委員会(官・民・産地で構成)で、基本構想をとりまとめ(8/20)
- **養成施設の整備に向けた基本設計等に着手**するとともに、**輪島塗の魅力発信や海外市場の開拓**など、基本構想の実現に向け取り組みを推進
- 輪島塗の魅力を発信することで、国内外から人を呼び込み、**作り手や観光客が集う「漆芸の聖地」を目指す**

養成施設のイメージ



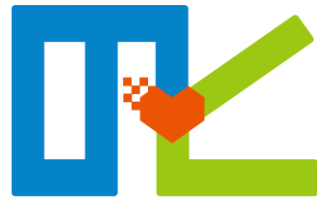
創造的復興を成し遂げるために
新たな組織を設立

能登官民連携復興センター 令和6年10月21日に開所

○ 地域団体等に伴走し、全国からの様々な支援を効果的に結びつけるコーディネートの役割を担う



取組の柱



NOTORENPUKU

- 集落・地域単位の復興に向けたまちづくりへの支援
 - ・集落の主体的な取組の基礎となる住民自治の強化 など
- 地域での生活を支える生業の再建支援
 - ・人手不足の解消支援、地域の新たな生業を創出するような取組への支援
- 全国および石川の外部機関との連携
 - ・寄附金、人材、ノウハウを積極的に獲得し、地域団体等への支援につなげる

災害により、

失われたものもあれば、新たに生まれたものも。

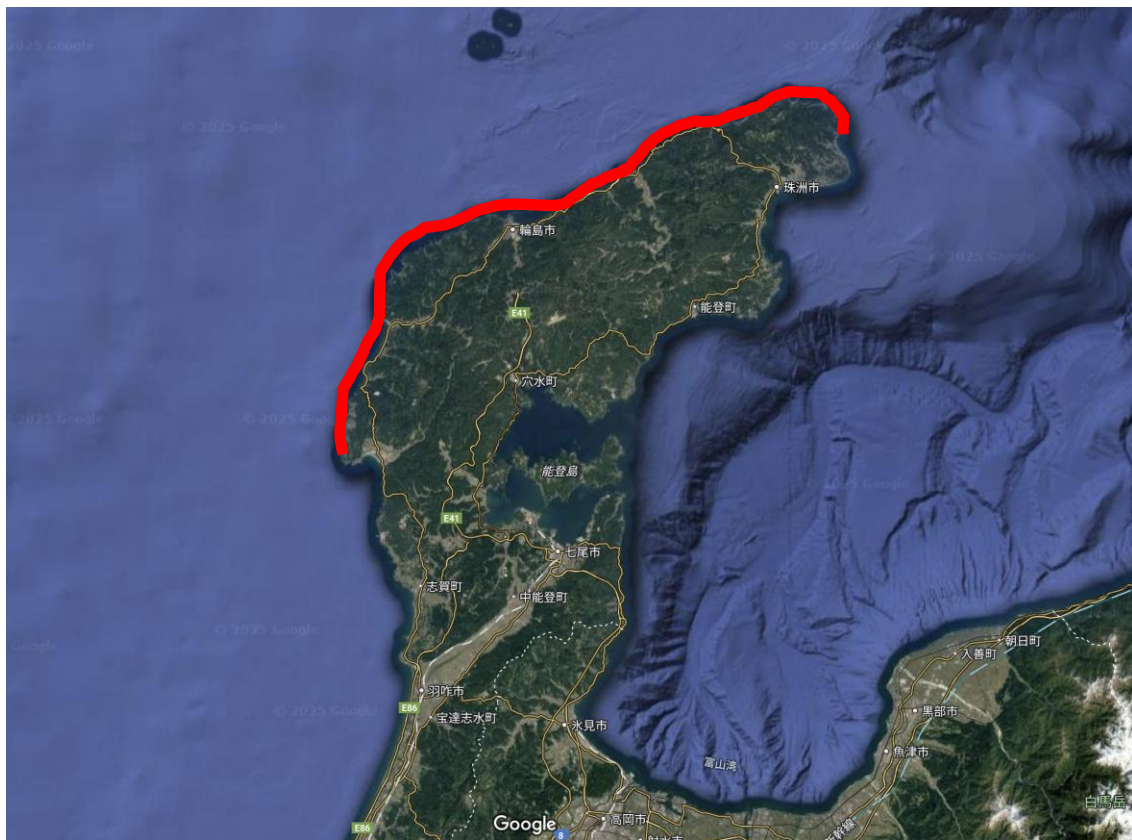
新しい力や関係が生まれ創造力が生まれる

のも被災地。それが、最後のチャンス。

失われたもの、新たにできたもの（一例）

失われたもの	新たにできたもの
住宅	仮設住宅
タクシー会社	新たな交通手段を模索する動き
通信網	スターリンク
スーパー	移動販売車（赤字での支援も有）
道路（土砂崩れ等で寸断）	千年に一度の隆起

奥能登の外浦一帯が隆起。
わずか1分間弱の時間で
5m隆起した場所も存在。



失われたもの、新たにできたもの（一例）

失われたもの	新たにできたもの
タクシー会社	新たな交通手段を模索する動き
地域づくり事業・補助金	休眠預金・クラウドファンディング
自ら新規事業を立ち上げる力	経済同友会をはじめとした 大企業からの支援
輪島朝市	出張朝市 新たな朝市の形を作る動き

失われたもの、新たにできたもの（一例）

失われたもの	新たにできたもの
能登らしい町並み、古民家	更地（固定資産税が残った） 古民家を残そうとする動き
町会単位のコミュニティ	新たなコミュニティ
人口流出	企業や大学生などの支援者
人材減少	人材受け入れシステム

人材、ノウハウ不足への対応

タイミー、LINEヤフーと人的支援の取り組みを推進


スポットワークの活用による
被災事業者の人手不足の解消支援



- タイミーが提供するスポットワークのマッチングサービスを活用
- 就職・定住促進団体や金融機関等とも連携し、能登にスポットワークの浸透を図る
- 事業者向けセミナーやお仕事相談会などを通じて、引き続き周知を図る

LINEヤフーと連携した「プロボノ支援」



- センターが活動先の調整等を行い、LINEヤフー社員がITや情報発信分野を中心に能登でプロボノ活動することを促進（3年で300人規模の支援） **プロボ能登**
- 他企業にも参加を呼びかけ、支援の輪を拡大。IT以外の分野も可能に

失われたもの、新たにできたもの（一例）

失われたもの	新たにできたもの
誰かがやってくれる	自分たちがやらなければ (新たな団体設立の動き)
行政まかせのまちづくり	行政との対話の場
商品製造・販売力	全国の企業やイベントでの 販売支援
自ら新規事業を立ち上げる力	経済同友会をはじめとした 大企業からの支援

失われたもの、新たにできたもの（一例）

失われたもの	新たにできたもの
公共の電気、ガス、水道	オフグリッドの考え方
子供の遊び場（グラウンドに仮設建設、友達の家が仮設）	急造の遊び場を作ってくれる団体や地域の動き
分散型の公的施設	フェーズフリーという考え方
定番観光ルート、観光ツアー	防災を学ぶ能登視察ツアー
街灯が少ない町	真っ暗闇

ご清聴ありがとうございました